

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	<a href="http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/">http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

## 【株式の手続きに関するお知らせ】

- (1) 株主の住所変更、買取請求、その他の各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度のご案内

1	優待内容	株主の皆様からのご支援に対し、感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
	優待の基準	株式保有数 100株以上=3枚
2	対象株主	毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の方を対象といたします。
3	贈呈期間	毎年11月下旬に発送を予定しております。



## IRメール配信サービスを実施しています！

鹿島社長からのメッセージを株主の皆様にお届けいたします。

ご希望の方は当社の投資家情報ウェブサイト内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いいたします。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/info/mail-service/>

メール配信サービスをご希望の方は上記アドレスよりご登録ください

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただき、当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。  
個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ

株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 Tel. 03-5275-4311

 株式会社 **SRAホールディングス**

<http://www.sra-hd.co.jp/>

本社オフィス：〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート28F TEL:03-5275-4311

# 2014年3月期 第2四半期 株主通信

2013年4月1日～2013年9月30日

 株式会社 **SRAホールディングス**

## 株主の皆様へ

皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

SRAグループは、中期経営計画3年目として「既存事業の構造改革推進」と「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」の更なる推進に取り組んでおります。

その結果、第2四半期の業績につきましては、売上高は、開発事業、運用・構築事業、販売事業の3事業の全てで増加し、7.6%増（前年同期比）となりました。収益面につきましても、売上総利益の増加等により、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて増加しました。また、業績予想に対しては、売上高はほぼ水準を確保し、経常利益は上回ることができました。

なお、第1四半期(4月～6月)に投資有価証券評価損を特別損失として計上しましたが、その後の株価回復により、第2四半期累計(4月～9月)は投資有価証券評価損を計上する必要がなくなりました。

2014年3月期の配当につきましては、1株につき40円の普通配当の維持を計画しています。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

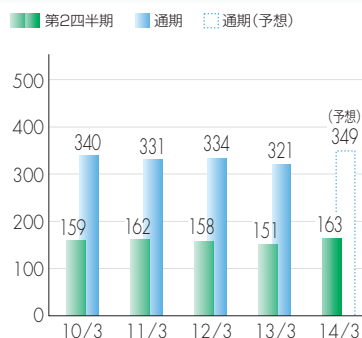
2013年11月

株式会社SRAホールディングス  
代表取締役社長 鹿島 亨

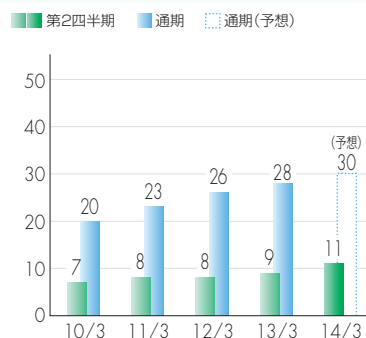


## ■ 連結財務ハイライト

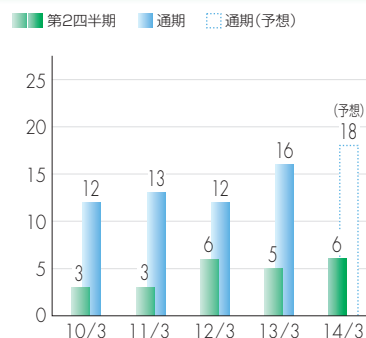
### 売上高 (単位:億円)



### 経常利益 (単位:億円)

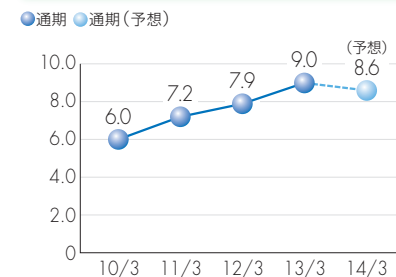


### 四半期(当期)純利益 (単位:億円)

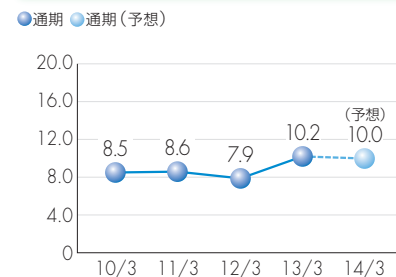


(注)2014年3月期予想は、2013年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

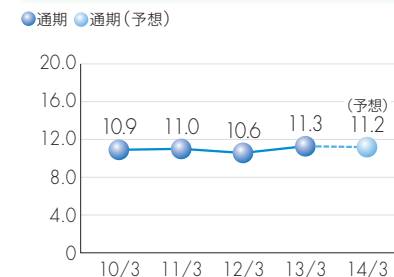
### 売上高経常利益率 (単位:%)



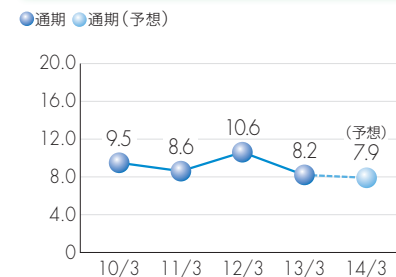
### 自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



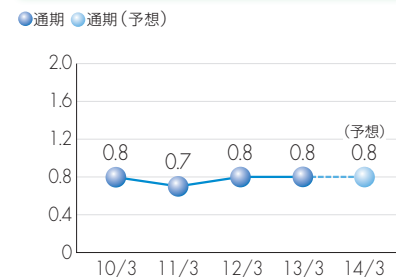
### 販管費率 (単位:%)



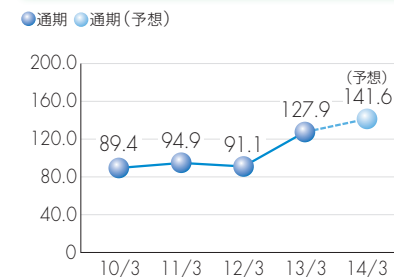
### PER(株価収益率) (単位:倍)



### PBR(株価純資産倍率) (単位:倍)



### EPS(1株当たり当期純利益) (単位:円)



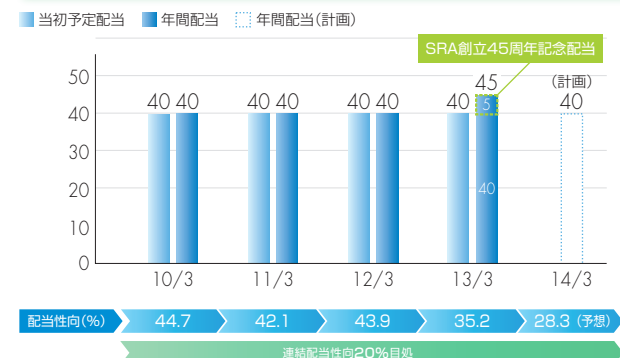
PER=各期末当社東証終値÷1株当たり当期純利益

PBR=各期末当社東証終値÷1株当たり期末純資産

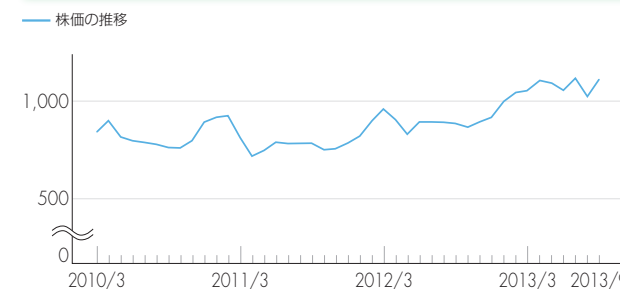
EPS=当期純利益÷発行済株式数(期中期末平均)

(注)2014年3月期のPER、PBRの算出に係る株価は2013年9月末日の終値を使用、収益等は2014年3月期の予想値を使用しています。

### 1株当たり配当金 (単位:円)



### 株価チャート (単位:円)



# 事業内容

**独立系**

メーカー／ユーザーに属さない中立な立場



**お客様にとって最適な選択肢を提供**

ハードウェア、ソフトウェア等は、特定のメーカーやユーザーに偏ることなく提供

## 事業セグメント

売上高構成比

販売事業

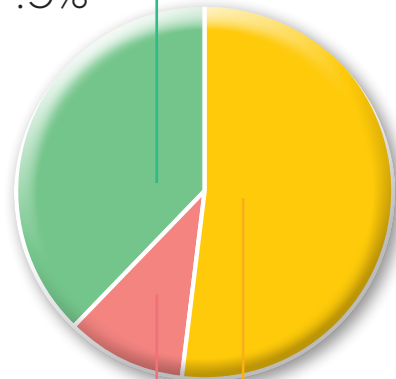
37.5%

運用・構築事業

10.5%

開発事業

51.9%



### 開発事業

SRAの強みである技術先進性と豊富な業務知識を活かして、銀行、証券をはじめとする各業界の企業向け情報システム開発や、家電製品のシステム中枢部分の開発である「組込開発」を行っています。

### 運用・構築事業

全国の有名大学を中心とした校内ネットワークシステム、および強固かつ安定稼働が求められる大企業や中堅企業のネットワークシステムの構築・運用を行っています。

### 販売事業

IBMの先進的なサーバー製品をはじめとするハードウェア製品、先進技術力をベースとした自社IP製品\*および、海外・国内の優れた製品を販売しています。

\*知的財産権を有する収益性の極めて高い自社ブランドの製品

# ビジネスフィールド

## ■ ホームエレクトロニクス

- ホームエネルギーマネジメントシステム
- ホームオートメーション
- ホームセキュリティ
- デジタル家電 [TV/レコーダー、オーディオ機器、パソコン、高性能ゲーム機器、複合機]
- モバイル [スマートフォン、タブレット]
- カーナビ

## ■ プロフェッショナルシステム

- ブロードキャストオートメーション [放送局向け素材管理・素材編集・番組編集]
- デジタルシネマ [シアター向けプロジェクター、シアター/スクリーンマネジメントシステム]
- 映像配信システム
- 医療用検査機器、測定機器
- カラオケシステム
- FA機器/OA機器
- POSシステム
- 電子マネー

## ■ 製造業

- ファクトリーオートメーション [NC機械、自動倉庫、生産管理]

## ■ 大学

- 総合文教ソリューション [UniVision]
  - ・入試・教務・学籍管理・会計
  - ・学生ポートフォリオ
  - ・教職履修カルテ
  - ・大学評価データベース 他
- 「キャンパスネット」
  - ・教員、学生、職員をつなぐネットワーク構築・運用

## ■ 企業オフィス

- ・証券会社オンライントレードシステム・資産運用系システム
- ・銀行勘定系・情報系システム
- ・生損保基幹・業務系システム
- ・電力業務システム
- ・ECサイト構築 [レコメンド・インタレストマッチ※、物流・販売管理]

※：閲覧履歴から閲覧者の関心を引きそうな商品を推薦

## ■ ハードウェア

- ・UNIXサーバー製品 他

## ■ 自社IP製品

- ・PowerGres
- ・MailDepot
- ・CodeDepot 他



# 3つの強み

## 1 技術先進性

1967年の創業以来、「技術先進性」を強みとし、UNIXからインターネット、Linux、OSS、SOA、SaaS、クラウドコンピューティングと常にIT業界をリードしてきました。先進技術を活かしたビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。

先進技術のご紹介 <http://www.sra-hd.co.jp/tech> <http://www.sraoss.co.jp/>  
<http://www.sra.co.jp/public/sra/key-tech/>

### TOPICS 成長分野（ワイヤレスデータコミュニケーション）へのビジネス展開事例 …… AMERICA'S CUP

SRAホールディングスの海外子会社であるSRA OSS, Inc.（本社：アメリカ）は、現地大手企業を主たる顧客としビジネスを展開しています。数年前より、ITの成長分野のひとつであるワイヤレスデータコミュニケーション分野に着目し、Proxim社（アメリカの無線通信機器メーカー）との業務・資本提携等を通じ、先進技術・構築ノウハウを蓄積しながら、ワイヤレスデータコミュニケーションビジネスを推進してきました。

この度、SRAOSSは、サンフランシスコで9月に開催された、ヨットレースの国際大会「AMERICA'S CUP」会場のWiFi環境整備システムを受注しました。これは、大会スポンサー企業からSRAOSSのワイヤレス分野における技術力と実績が評価されたものです。会場にWiFi環境が整備されることにより、レース参加者は風速等の情報を分析し選手に連絡することができ、観客も試合状況をリアルタイムで把握することが可能となり、大会は円滑に運営されました。

SRAOSSならびにSRAグループ各社は、このような実績や優位性のある先進技術力を活かし、成長分野へのビジネスをさらに積極的に推進していく方針です。

## 2 優良顧客基盤

製造、銀行・証券等の各業界のリーディングカンパニーをはじめとする大企業・中堅企業と継続的・安定的なビジネスを展開しています。

また、新たな成長業種のお客様にもビジネスを推進しています。



製造業	34%	流通	3%
通信	6%	大学等	4%
電力・ガス	4%	ハードメーカー (Sler)	5%
銀行・証券	24%	情報サービス	7%
生損保	5%	サービス他	7%

## 3 グローバル・リーチ

米国、欧州をはじめとする海外拠点の実績・ノウハウとグローバル・リーチを活かし、海外ビジネスを推進している日系企業・現地企業のお客様はもとより、これから海外市場に進出されるお客様に対しても国際競争力に直結するサービスを提供しています。

IT技術の進展と先々のニーズをいち早く捉え、今後もサービス拡充を図っていきます。

(株)SRA東北

(株)SRAホールディングス  
 (株)SRA  
 └── 先端技術研究所  
 (株)ソフトウェア・サイエンス  
 (株)AIT  
 (株)SRAプロフェッショナルサービス  
 (株)クレディスト  
 SRA OSS, Inc./日本支社

(株)SRA/中部事業所

(株)SRA/関西事業所

(株)SRA西日本/  
広島事業所

(株)SRA西日本

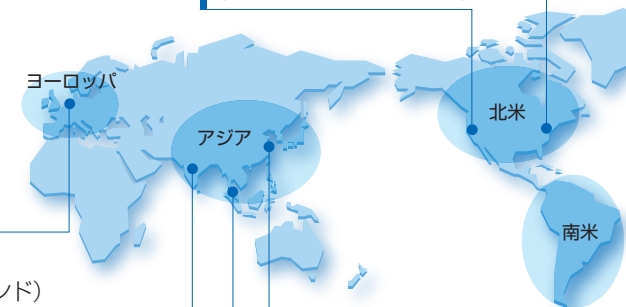
### 所在地別セグメント情報

海外の売上は、現地通貨ベースではほぼ横ばいだが、円安の影響により増加。

所在地別セグメント	売上高			
	前第2四半期 (2012年4月1日 ～2012年9月30日)	構成比	当第2四半期 (2013年4月1日 ～2013年9月30日)	構成比
海外	1,193百万円 (15,156千ドル)	7.9%	1,479百万円 (15,043千ドル)	9.1%
日本	13,971百万円	92.1%	14,842百万円	90.9%

SRA AMERICA, INC.  
(アメリカ ニューヨーク)

SRA OSS, Inc.  
Cavirin Systems, Inc.  
(アメリカ サンタクララ)



SRA (Europe) B.V. (オランダ)

SRA India Private Limited (インド)

SRA IP Solutions  
(Asia Pacific) Pte. Ltd. (シンガポール)

愛司聯發軟件科技(上海)有限公司 (中国)

変革に挑む!

## 株式会社ソフトウェア・サイエンス

<http://www.ssi.co.jp>

1972年の創業以来、大手Sierのシステム開発の二次請けを中心にビジネスを展開してきたソフトウェア・サイエンス(以下、SSI)。

SSIは、事業環境が変化するなか、受注拡大・収益性向上を目指し、長年にわたり培った技術力と豊富な実績を活かした「新たなビジネスモデル」への変革に挑み、ここ数年、着実に成果をあげています。

### 新しいビジネスモデル

#### ①中堅企業をターゲットにした 一次請けビジネスの展開

長年にわたるシステム構築の経験から生まれた「SSISQET」(SSIが自社開発したソフトウェア開発の品質検査ツール)——この製品は、ソフトウェア開発のトラブル発生につながることの多い「設計段階」に着目し、設計時のリスク対応をパターン化した製品です。

SSIはいままで受注実績がほとんどなかった中堅企業に対し、「SSISQET」を用いたコンサルティングによりアプローチし、課題解決へと導き信頼を得ることで、一次請け顧客の獲得・拡大につなげています。



**SSISQET**  
S S I Software Quality Examination Tool

#### 「SSISQET」

ソフトウェア開発のプロセスおよび最上流工程・設計工程の不備を機械的に検査する品質検査ツール。このツールの活用により、プロジェクトの問題点が明確になり、円滑なプロジェクト運営が可能となる。

<http://www.sqet.jp/>

#### ②大手Sierの上流工程への業務展開

SSIは、大手Sierでは開発経験がないシステム開発のニッチな分野において、「上流工程」(どのようなシステムを作るかという要件を定義する)の段階からの受注を可能としました。従来の「下流工程」から「上流工程」へと業務範囲を広げることにより受注が拡大し、単価の高い「上流工程」を受注することで収益性も向上しています。

#### ③協業による新たな顧客分野

##### 【学習塾・高校等】への展開

首都圏最大級の中学生向け模擬試験「Vもぎ」を提供している模擬試験運用会社との共同開発による「デジタル採点システムSGS」は、学習塾・予備校・教育事業者等をターゲットにした製品です。県立高校

入試にも導入され、その実績を基に首都圏の県立高校をはじめ、中学校や小学校の入試、模擬試験などへの導入を目指し、積極的に営業を展開しています。

学習塾や予備校、県立高校は、SSIにとって新たな分野の顧客であり、システム開発に比べ粗利益率が高い製品ビジネスの横展開は、受注拡大・収益増につながります。



#### 「デジタル採点システムSGS」

SSIと模擬試験運用会社との共同開発によるシステム。答案用紙にペンで採点する方式とは異なり、答案用紙をスキャンし、パソコン上での管理・採点処理を行なうことで、コスト低減、採点時間短縮が可能となる。

<http://www.ssi.co.jp/SGS/SGS.html>



SSIは、今後もこれらの新しいビジネスモデルを刻々と変わる顧客ニーズに合致するよう進化させながら積極的に展開していく方針です。

**SRAグループは、「進化する企業」を目指し、変革への挑戦を続けています。**

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2013年9月30日現在	前期末 2013年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	18,208	17,473
固定資産	10,342	10,660
有形固定資産	186	184
無形固定資産	770	894
投資その他の資産	9,385	9,580
資産合計	28,551	28,133
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,336	6,683
固定負債	3,789	4,090
負債合計	11,126	10,774
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,953	16,879
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	12,863	12,789
自己株式	△1,393	△1,393
その他の包括利益累計額	429	439
新株予約権	42	39
純資産合計	17,425	17,359
負債・純資産合計	28,551	28,133

**ポイント** 流動資産の735百万円増加に伴い、資産合計が417百万円増加。流動資産の増加は、売掛金の回収増により現預金が591百万円、受注残増により仕掛品が596百万円それぞれ増加したことによる。

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
売上高	16,321	15,165
売上原価	13,505	12,488
売上総利益	2,815	2,677
販売費及び一般管理費	1,849	1,777
営業利益	966	899
営業外収益	255	144
営業外費用	27	86
経常利益	1,193	957
特別利益	6	12
特別損失	6	0
税金等調整前四半期純利益	1,193	969
法人税等	528	458
四半期純利益	664	511

**ポイント** 増収増益。売上高は全ての事業セグメントで増加。経常利益(24.6%増)・四半期純利益(30.1%増)は2桁の増益。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	855	1,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	189	△3,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	△612	△525
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	△6
現金及び現金同等物の増減額	511	△2,574
現金及び現金同等物の期首残高	7,497	9,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,008	6,922

# 株式の状況・会社概要

(2013年9月30日現在)

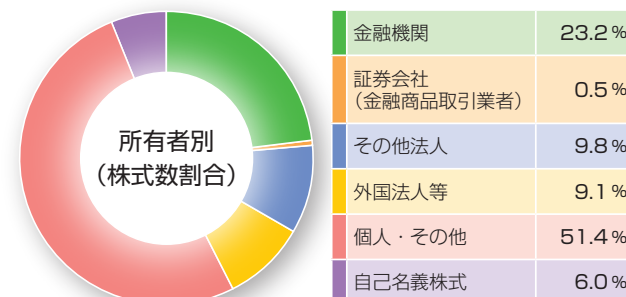
## ■ 株式の状況

発行可能株式総数…………… 60,960,000株  
発行済株式総数…………… 15,240,000株  
株主数…………… 10,350名

## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森京子	1,635	10.7
株式会社SRA	1,190	7.8
株式会社SRAホールディングス	911	5.9
SRAホールディングス社員持株会	617	4.0
第一生命保険株式会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	495	3.2

## ■ 株式分布状況



## ■ 会社概要

商号 株式会社SRAホールディングス  
SRA Holdings, Inc.  
本店所在地 東京都豊島区南池袋二丁目32番8号  
設立年月日 1991年1月28日  
資本金 10億円  
主要な事業内容 システムの開発事業、運用・構築事業  
および販売事業を営む事業会社の統括  
管理  
従業員数 1,509名

## ■ 役員

代表取締役社長 鹿島 亨  
常務取締役 富田 博  
常務取締役 金崎 俊明  
常務取締役 山崎 善通  
取締役 堀井 哲夫  
常勤監査役 新延 正憲  
監査役 櫻井 通晴  
監査役 竹谷 智行  
会計監査人 太陽ASG有限責任監査法人